

# 製本のススメ

Vol. 171

秋の気配と共に10月から消費税率が変わります。8%と10%が同時に発生するお店は大変な事も多くて暫くは混乱しそうですね。弊社でも仕掛品の扱いが悩ましいところです。基本的には納品日が10月になる場合には新しい税率にての請求となります。また20日締め・25日締め等 **月末前の締日の得意先様には 次月(10月分)のみ請求書を分けさせて頂くことになりました。**8%と10%の**2枚の請求書が発行されます**ので よろしくお願い申し上げます。

今回は**保存する**の話し

大切な資料を保存する 現在はデータとして電子化していく流れにあります。そうは言っても その保存媒体が将来使えるのか(たとえばMDやレコードの様に再生機器自体がなくなる事も)となると、実績の少ない電子化には少々不安の声もあります。そんな中で冊子の保存は、長い歴史もあり実績もありで信頼度は増しますね。

さて保存に関して用紙もインクも気を使いますが 製本の接着剤はどうでしょうか。環境への影響は考慮されていますが 長期保存については さほど考慮(現在時点)されていません。現在 無線綴じに多く使われているメルトでは、保存状況にもよりますが、概ね30年~40年といわれています。PUR材では加工の歴史が浅くデータを出すまでには至りません。

さて糸綴りが保存に向いているとは言え 糸が劣化しないわけではありません。糸綴りは本文に縫い針の穴は開きますが、無線綴じのように本文に傷をつけないため 糸を取り換えて綴り再び長期保存に耐えていけるのです。

もっとも この方法で100年以上持たせるなら 接着剤は「膠(ニカ)」でなくてはなりません。膠は可逆性のある接着剤で一度硬化しても 温めると緩み接着面から外しやすくなります。本文を痛めることなく何度でも修理が可能なのですね。現在でも貴重書の修理に膠は欠かせません。もちろん上製本の世界でも膠は現役です。



## Teabreak

金唐革紙というのをご存知でしょうか 江戸時代にあった擬革紙の技術を応用し和紙を湿らせ、版木にのせてデザインを浮き上がらせ、そこに防水加工や彩色などを施し、錫箔をのせワニスをかけると、箔の部分が金色に変色し あたかも革でできたかのような紙になっていきます。素晴らしい出来栄は博覧会でも評価されました。東京では上野の「旧岩崎邸」で見ることができます。

弊社 HP は [www.isekiseihon.com](http://www.isekiseihon.com)

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本